

主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・31年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	生活文化部
	17059	国民体育大会開催準備事業	課名	文化スポーツ課 国体推進G
	施策の大綱	02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実	財務	会計 01:一般会計
	基本施策	07:スポーツの推進	科目	10:教育費
	施策の方向	04:スポーツ文化の浸透	目	06:保健体育費
戦略プロジェクト	-	目	01:社会体育費	
事業予定期間	H 29 ~ H 33 年度		主な根拠法令要綱等	

② 目的・概要	対象	市民及び国民体育大会関係者
	目的	平成33年度に三重県を中心に開催される、第76回国民体育大会(三重とこわか国体)におけるウエイトリフティング競技、軟式野球競技の会場を担うべく、開催準備態勢の確立を行いつつ、市民がトップレベルのスポーツ競技を身近に感じ、スポーツに対する関心を向上させる機会となる環境の整備を行うことを目的とする。
概要	国体開催に向けた準備等を円滑に行うため、平成29年度に亀山市準備委員会を組織し、平成31年度に実行委員会へ移行する。また、準備委員会・実行委員会において先催県視察及び大会準備等を行う。 また、市民の国民体育大会各種競技への関心を高めるため、啓発・広報活動を実施する。	

③ 事業の計画・実績	年度計画	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
		<ul style="list-style-type: none"> ○国体準備委員会の設立・運営 <ul style="list-style-type: none"> ・準備委員会総会の開催 開催方針、事業計画、収支予算の決定 ・常任委員会の開催 開催準備等の検討 ・競技専門委員会の開催 競技運営等の検討 ○先催県視察(愛媛県) <ul style="list-style-type: none"> ・ウエイトリフティング及び軟式野球 ○後催市向け事後説明会出席 	<ul style="list-style-type: none"> ○国体実行委員会の設立・運営 <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会総会の開催 事業計画、収支予算等の決定 ・常任委員会の開催 開催準備等の検討 ・競技専門委員会の開催 競技運営等の検討 ○先催県視察(福井県) <ul style="list-style-type: none"> ・ウエイトリフティング及び軟式野球 ○後催市向け事後説明会出席 	<ul style="list-style-type: none"> ○国体実行委員会の運営 <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会総会の開催 事業計画、収支予算等の決定 ・常任委員会の開催 開催準備等の検討 ・競技専門委員会の開催 競技運営等の検討 ○先催県視察(茨城県) <ul style="list-style-type: none"> ・ウエイトリフティング及び軟式野球 ○競技会場設営設計業務委託 ○後催市向け事後説明会出席 ○広報啓発(物品作成、講演会等実施) 	
事業の計画・実績	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ○国体準備委員会の設立・運営 <ul style="list-style-type: none"> ・準備委員会総会の開催 開催方針、事業計画、収支予算の決定 ○先催県視察(愛媛県) <ul style="list-style-type: none"> ・ウエイトリフティング及び軟式野球 ○後催市向け事後説明会出席 			
		計画額	事業費 1,000千円 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 1,000千円	900千円 900千円	2,700千円 2,700千円
事業の計画・実績	事業費	予算額	事業費 895千円 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 895千円	850千円 850千円	0千円
		決算額	事業費 ① 895千円 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 895千円	0千円	0千円
事業の計画・実績	人件費	総人件費 ② 1,536千円 一般職員 1,536千円 所要人員 0.20 臨時職員等 0千円			
		総コスト(①+②) 2,431千円 受益者負担率 0.0%			

			平成29年度	平成30年度	平成31年度	
④ 指標	①	名称 準備委員会・実行委員会の設立	計画値 実績値 単位	準備委員会発 準備委員会発	実行委員会設	
	②	名称 大会視察	計画値 実績値 単位	1 1 回	1 回	1 回
	③	名称	計画値 実績値 単位			

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 準備委員会の設立及び先催市視察を行うなど、計画通り事業を進めることができた。	A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 平成33年の競技会開催に向け、必要な事業進捗が図られた。	A 十分な成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 主に三重県の事業進捗を見据えながら、関係機関と綿密な連携、調整を行う必要がある。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 繰り返し確認を行うなど、綿密な連携、調整を行う。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 競技会のスムーズな運営を図ることができる。	
対応時期		競技会終了まで(平成33年度)	

【1次評価者】	生活文化部 文化スポーツ課 国体推進グループリーダー 佐藤 康二
【最終評価者】	生活文化部 文化スポーツ課長 小林 恵太